

轍
わだち

監修 玉川

2011.4.14 NO. 3

4月30日(土) 当日企画案

避難訓練の後、私たちが考えた企画で、被災された人々への応援企画を実行します。

決定した企画を紹介します。

講演：清水宏行さん

この方はスマトラ地震の際にも現地で救助活動をされ、今回の震災は当日現地入り

された方です。今後どんなお話しをしていただけるか詰めていく予定です。

(被災地の方についても現在お話しを聞けるか交渉中です)

コンサート

音楽はどんなときにも心を癒してくれます。

ソプラノ歌手で平安女学院中学の卒業生ウィーンで7年活動され、現在京都芸大の講師をされています。上野洋子さんも、「是非お手伝いしたい」と言って頂きました。保護者コーラス部。現在コーラス・吹奏楽部にも依頼中です。

全校大合唱曲
大募集！

支援物資の追加

持ち寄り物品買い取り募金

みんなの家にあるもので、これ誰かに使ってもらいたいなと思うものがあれば持ち寄ります。普通のバーザならばそれに値段が付きます。しかし、私たちの考えは買いたいと思う人が値段を自分で決めて出します。その金額があなたの被災地応援募金額ということになります。

中学1年生 実行委員の思いを紹介します

(裏面に続きます)

実行委員の中1年1組 です。

私が実行委員に入った理由は、私達みたいに毎日ごはんを食べて、おふろに入って…と言う幸せな日常を少しでも取りもどせたらと思ったからです。

私達が楽しく友達と話しているときも被災地の方々はいろいろと苦しんでおられます。だから、ちょっとでも、被災地の方々の役に立てたらいいなと思いました。今まであたり前にできた事ができなくなってしまった被災地の方々の心をちょっとでも私達が支える事ができたらいいなと思います。だから、私はこの委員会に入って、被災地の方々のためにがんばりますので、みなさんもがんばって下さい。

J1-1

初めまして、 です。よろしくお願ひします。私が何故、実行委員に入ったのかと言うと自分の実家が被災したからです。3月11日に起きた大きな地震で実家を含む多くの方が亡くなつたのを聞いて、本当に悲しかつたです。実家とは、あまり電話がつながらず少したって電話から声が聞こえた時は本当に嬉しかつたです。

3月11日から1ヶ月たつた今でも1万人以上の方々の行方が分かっていません。助けたくても私達はレスキュー隊、自衛隊ではないので助けに行けません。被災された方々は避難所で生活をしていますが東北へ行きボランティアをする事も出来ません。
では、そこで「今私たちに何ができるのか?」そう思い実行委員に入りました。
もし自分が被災された方々の立場だったら今何が欲しいかという事を考えて実行委員は考えています。

東日本被災地応援実行委員になった中学1年1組の です。

震災がおきて1ヶ月ほどたちますが、余震にもかかわらず、震度6弱という大きな地震が毎日のようにおきています。私はニュースを見ていて、私になにかできないか?今するべきことはなにかを考えてみました。その時に出会ったのがこの実行委員会でした。私はアナウンサーみたいに被災地に行きこの目で被災地を見て、エールをおくったり、その人がどんなに苦しんでいるかを聞けないから、少しでも力になればと思っています。私は何もできないと最初は思っていました。でも、こんなにがんばってくれている先輩たちを見て、この委員を希望しました。今、自分がしてもらってうれしいことなどを考えています。私達が今やっていることはもしかしたら、「ちっぽけなもの」かもしれません。みんなが「ちっぽけなもの」と思っていても、被災された方にとっては、ものすごく大きな物かもしれません。今私たちができることを考えてみて下さい。きっと何かが見つかるはずです。

支援物資の追加

支援物資が

ノート、鉛筆、消しゴム、歯ブラシ、生理用品、ウェットティッシュ、飴ちゃん
でしたが…えんぴつ削り、タオル、歯磨き粉、割り箸、紙コップが追加しました!
また、いつまでに集めたらいいのか、どれくらいの量が良いのかなどの詳しい条件は、
決まり次第連絡します。